

第31回日本摂食嚥下リハビリテーション 学会学術大会 出展レポート

本会では、今年度同学会の企業展示に出展しました。昨年度は台風により出展を断念したため2年ぶりとなります。開催事務局によると、今回は全国からおよそ6,300名の出席がありました。

企業展示への出展については食品メーカーの他、医療機器メーカーなどの関係企業を合わせておよそ92社あり、このうち本会および会員企業は計25社でした。

今回、本会小間では、UDF関連資料ならびに、会員各社より提供を受けたUDFサンプルを配布しました。サンプルはUDF認知度調査と引き合えに実施しましたが、2日間で計171名にご協力いただきました。昨今ではQRコードを個人の端末で読み取っていただきWebフォームから回答いただく方式としていますが、来場の皆様からは積極的に回答をいただきました。

また、今回の出展ではIDDSI日本リファレンスチームからの要請を受け、IDDSI認知度調査の場所についても提供いたしました。

以下、本会が行った調査内容の一部をご紹介します。

Q. あなたの職種を教えてください

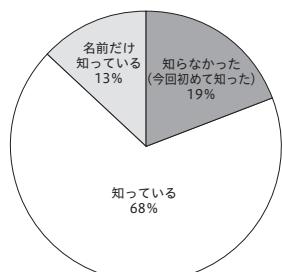
この問いには、言語聴覚士40%、看護師32%、歯科衛生士16%、歯科医師および管理栄養士・栄養士がそれぞれ9%の結果でした。ランダムにお願いしたアンケートのため、来場者全体の属性分布とも近いと思われますが、言語聴覚士の回答率が非常に高い結果でした。

Q. UDFとは何かご存じですか

UDFの認知度は、「知っている」68%、「名前だけ知っている」13%と併せて81%でした。これは、一般消費者（在宅）対象の認知度調査では13%程度（2024年4月実施）ですが、専門職の間では非常に高い認知率であることがわかります。

これを上記職種別にクロス集計してみると、以下の通りの結果でした。

- 言語聴覚士「知っている」77%、「名前だけ」17%、「知らない」6%。
- 看護師「知っている」55%、「名前だけ」3%、「知らない」39%。
- 歯科衛生士「知っている」44%、「名前だけ」22%、「知らない」33%。



Q. UDFとは何かご存じですか

- 歯科医師「知っている」87%、「知らない」13%。

- 管理栄養士・栄養士「知っている」87%、「名前だけ」13%。

「名前だけ」までを含めると、管理栄養士・栄養士の認知率は100%となりました。食事に精通する職種として当然といえばそうですが、大変ありがとうございます。次に、言語聴覚士が94%、歯科医師87%、歯科衛生士66%、看護師58%でした。食事と関連の深いリハ職種として、言語聴覚士の認知率も高かったです。この学会に来場されるという時点でも関心の高さがうかがえます。

今回、「知らない」皆様にもUDFを知っていただけたものとして、また前進したい所存です。

会期：令和7年9月19日（金）・20日（土）

会場：パシフィコ横浜ノース（横浜市）

アンケート回収数：171

【会議、催事等の予定】

11月13日（木）特別講演会（オンライン）

11月14日（金）第3回容器包装研究会（会議室）

11月19日（水）第3回物性測定勉強会（実践女子大学）

11月21日（金）～22（土）令和7年度第1回理事会（アヲハタ）

【UDF商品登録状況（2,297品目・9月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	18	7	1	58	5	89
冷凍食品	342	263	792	54	0	0	1,451
常温食品	248	50	278	180	1	0	757
合 計	590	331	1,077	235	59	5	2,297

【会員の異動（9月）】

新規加入会員 1社：(株)ベスト
計98社（9月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>